

結ぬ海科通信

上原小学校
R4. 9. 22
No.5

避難所体験

魚まき集会

ビーチクリーン

防災学習
単元名「津波から命を守ろう」

上原小学校三大海洋教育の学習のうちの一つである「防災学習」の中の避難所体験が9月16日に行われました。

“なぜ海洋教育なのに防災学習？”上原小学校は海に近い学校です。親しみのある大好きな海ですが、時には刃を向け、襲ってくることもあります。海を知り、地震や津波などの災害に備え、命を守るための行動ができるよう、また避難所先でも落ち着いて行動できるよう、海洋教育の一つとして取り組んでいます。



竹富町津波避難計画より

上原小学校は避難所にもなっています。昨年は低学年が「ちらしで食器作り」中学年は「身近な物で担架作り」、高学年は「ランプ作り」を行いました。その経験もいざ何かあったときに活用できるといいですね。

今年は、避難するときに持っていきたい物をグループで話し合ったり、東日本大震災体験者の話を聞いたりし、防災に対する意識を高めることができました。



避難所先に3つしか持っていけないなら
何持っていく??

多くのグループで食料や水などができました。他にも着替えやバッテリー、「仲間」と答えるグループも!! そのときの自分の状況(薬が必要! ペットも連れて行きたい!! 赤ちゃんがいる!)も考慮する必要があるそうですね!

防災バックの中身、何が必要!?

みんなで防災バックの中身を確認してみました。「あっ賞味期限切れてる!」「マスクもあった方がいいな〜」お互いの中を見て気づくことができました。ぜひご家庭でも話し合ってみてください♪



東日本大震災(3.11)

今から11年前、多くの被害者がでた大震災のことについて、体験者である幼稚園の美千代先生がお話ししてくれました。

テレビでしか見たことない話を聞き、その怖さやリアルでの様子を驚きを隠せない子どもたち。いつでもどこでも起こりうることを忘れずに行動していきましょう。